

R3年度 事業名	移住・交流情報発信事業
R2年度 事業名	移住・交流情報発信事業

総合戦略 体系	214	若者が住みたくなるまちの創造	若者の夢を応援するまち ~よそ者に寛大で多 様性があるまち~	UIターン者定住促進
------------	-----	----------------	-----------------------------------	------------

P L A N (計 画)	部署名	総合政策課	開始年度	2011	終了年度	9999
	目的	鯖江市まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標「若者が住みたくなるまちの創造」を推進し、鯖江市への交流人口・定住人口の増加を図るために、県内外での積極的な情報発信を行う。				
	概要	移住希望者への個別相談に応じるほか、都市圏での鯖江市の移住情報の発信を行う。				
	コロナ対応 の取組	(R2年度)相談会や移住フェアはオンラインで実施、SMOUTによるオンライン相談窓口を開設 (R3年度)相談会や移住フェアはオンラインで実施、LOCALMATCHによるオンライン相談窓口を開設 (R4年度)相談会や移住フェアはオンラインで実施				
法令 根拠		実施 形態	内 容	移住希望者への相談業務、都市圏での情報発信		
現在	市直営					

D O (実 施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
	大都市での情報発信回数		回	目標値	2	2			
				実績値	2	3			
	オンラインによる情報発信回数(移住フェア・相談会等)※ 2020~		回	目標値			3	3	6
				実績値			6		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
	移住相談件数		件	目標値	30	30	35	35	40
				実績値	33	43	37		
	計算 根拠			達成率	110	143.3	105.7		
				実数値					
				ランク	A	A	A		
	前年度 ランク B、Cの 理由								

【単位:千円】

事業費	区分	2017	2018	2019	2020	2021	タイプ	会計	一般会計
	予算額	130	2,053	126	102	114		事業タイ	単独事業
	決算額	113	852	96	0			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R3年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	2	1	13	208	関係・移住人口創出事業費	4,147	114	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	114

No	R3年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.1
	臨時・嘱託	
	※所要時間	50

CHECK(評価)

法令により実施することが義務づけられているか。
(評価1いいえ・2はい) いいえ はい

行政が実施すべき事業か。
(評価1必要なし~5必ず実施すべき) 1 2 3 4 5

住民等のニーズはあるか。
(評価1ニーズなし~5十分にニーズあり) 1 2 3 4 5

国・県または民間のサービスと競合している事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

①必要性 評価点数の合計 **13 / 16 A**

効率性
今以上に、コスト削減させる余地はないか。
 ある ない

今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う人員削減させる余地はないか。
 ある ない

有効性
今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を確保する余地はないか。
 ある ない

今以上に、成果を向上させる余地はないか。
 ある ない

②事務改善 評価点数の合計 **13 / 20 A**

ACTION

R3方向性⇒ **維持**

今年度取組内容
県主催の移住・就職フェアやその他の移住相談会等にオンラインで参加するとともに、移住マッチングサイトや丹南エリアプロモーションによるSNS等を活用した情報を掲載し、移住を考える人だけでなく、関係人口を増やすため、移住に関心があるだけの人にも積極的に鯖江の魅力伝えていく。また、LOCALMATCHのプラットフォームを活用して、オンライン相談の受付案内を新たに開設した。また、県外在住の大学生等で本市の仕事・暮らし・地域情報のメール配信を希望する者に、情報発信を行う。募集は随時行っており、令和3年度に実施した成人式や「ふるさとさばえ大学生等応援事業」に申請した県外の大学生等にも周知を行っている。

R2年度の実績
県や連携中核都市圏による移住フェアや相談会等にオンラインで参加し、移住相談やPR活動を行った。
・県主催の相談会(8月、12月)やオンラインエキスポ(12月)
・連携中核都市圏による移住フェアの参加(名古屋3月)、東京(3月)
また、RENEW等の鯖江市で行われる感染対策を行って開催するイベントPRをSMOUTに掲載して全国から鯖江市へ足を運んでもらえる取組みを行った。

R2年度実績とR3年度の経過を踏まえた課題
・移住フェア等で不特定多数を対象とした相談受付を行った場合、鯖江市目当てに来てくれる人が少ない。
・県外の学生等へ情報発信をする場合に有効な発信手段が無い。

実績と課題を踏まえたR4年度の変更点
鯖江への移住を検討している方や鯖江に住んでいる方に「住んでみたい・住み続けたい」と思ってもらえるよう、鯖江での暮らしを身近に感じられる情報を市公式ホームページを活用して発信する。

R4方向性⇒ **事務改善**

【提案型市民役事業実施】

年度	2018	2019	2020	2021	2022
取組選択	可能	可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R3年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	
R4年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R3年度 事業名	文化芸術リーダー育成活動支援事業
R2年度 事業名	めがねのまちさばえ感謝祭開催事業

総合戦略 体系	325	若くて元気のまちの創造	子どもがいきいきと過ごすまち	文化活動の推進
------------	-----	-------------	----------------	---------

PLAN (計画)	部署名	総合政策課	開始年度	2012	終了年度	2021
	目的	次世代を担う子ども達が、地域住民とともに、身近に文化芸術に触れ合える環境づくりを支援し、豊かな感性に磨きをかけ、将来の地域の文化芸術活動団体のリーダー等の育成につなげる。				
	概要	普段は味わうことのできない文化芸術に触れ合える場を提供するとともに、有名高校吹奏楽部を招聘し、演奏指導や演奏会のサポートを行う。				
	コロナ対応 の取組	(R2年度)コロナによりイベントを中止した。 (R3年度)イベント開催が厳しいことから演奏会を断念し、演奏指導に要する費用を負担する予算に切り替える。ただし、演奏会を開催する場合には児童等の移送時には感染症対策に十分に留意する。				
法令 根拠		実施 形態	内容	演奏会の開催に必要なバス等の費用を負担する。		
現在	その他					

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
	実行委員会の開催		回	目標値	4	4	1	1	-
				実績値	4	4	1		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
	来場者数		人	目標値	4,000	4,000	-	-	-
				実績値	4,500	4,000	-	-	-
	計算 根拠			達成率	112.5	100	-	-	-
				実数値	-	-	-	-	-
イベント出演数※2020～		回	目標値	-	-	-	1	-	
			実績値	-	-	-			
計算 根拠			達成率	-	-	-	-	-	
			実数値	-	-	-	-	-	
		ランク	A	A	-				
前年度 ランク B、Cの 理由	コロナの影響により開催中止としたため。								

【単位:千円】

事業費	区分	2017	2018	2019	2020	2021	タイプ	会計	一般会計
	予算額	4,800	6,000	6,000	0	713		事業タイ	単独事業
	決算額	4,800	6,000	6,000	0			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R3年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	2	1	13	208	関係・移住人口創出事業費	4,147	713	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	713

No	R3年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.02
	臨時・嘱託	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令により実施することが義務づけられているか。
(評価1いいえ・2はい) いいえ はい

行政が実施すべき事業か。
(評価1必要なし〜5必ず実施すべき) 1 2 3 4 5

住民等のニーズはあるか。
(評価1ニーズなし〜5十分にニーズあり) 1 2 3 4 5

国・県または民間のサービスと競合している事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

①必要性 評価点数の合計 **10 / 16 B**

効率性

今以上に、コスト削減させる余地はないか。 ある ない

今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う人員削減させる余地はないか。 ある ない

有効性

今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を確保する余地はないか。 ある ない

今以上に、成果を向上させる余地はないか。 ある ない

②事務改善 評価点数の合計 **16 / 20 A**

ACTION

今年度	R3方向性⇒	内容縮小
	取組内容	めがねフェス等の市内イベントで吹奏楽を披露する際に楽器運搬などのサポートや中学校にプロの講師を招き、吹奏楽のまちづくりを推進していく。
来年度へ向けて	R2年度の実績	令和2年度はめがねのまちさばえ感謝祭2020を実施予定であったが、コロナ禍の影響を鑑みて中止とした。また、同イベントについては当初の目標は達成されたと判断して終了する。
	R2年度実績とR3年度の経過を踏まえた課題	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度からは、次世代の文化芸術リーダーを育成することを目的に市内イベントにおける活動費として予算を持っていたが、吹奏楽のみならず、他の文化芸術活動に対しても適切に支援を行っていく必要がある。 コロナ禍により市内イベントが難しい現状を踏まえ、イベント開催以外で目的を達成するための代替案を検討する必要がある。
	実績と課題を踏まえたR4年度の変更点	当初の目標は達成されたと考え、事業廃止とする。
	R4方向性⇒	廃止

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2018	2019	2020	2021	2022
取組選択	可能	可能	可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R3年度事業名		市民主役事業にかかる額(単位千円):	
R4年度事業名		市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R3年度 事業名	輝く女性世界発信事業
R2年度 事業名	輝く女性世界発信事業

総合戦略 体系	142	魅力ある雇用の創出	女性が輝くまちの創造	女性の活躍支援
------------	-----	-----------	------------	---------

PLAN (計画)	部署名	総合政策課	開始年度	2017	終了年度	2022
	目的	第2期総合戦略に掲げる「世界のめがねの聖地SABAEの確立」に向け、本市の魅力の一つである女性の活躍を紹介する映像番組を制作し、国内外に発信する。				
	概要	眼鏡をはじめとする地場産業やまちづくり等の分野で輝く本市の女性を紹介する映像番組を制作し、国内や国連NY本部等で紹介する。				
	コロナ対応 の取組	コロナの影響で、「SDGs推進会議」が開催されないため、国連会議での紹介、レポートは実施できないが、国連の友APを通じて、日本で開催される国連関係の会議(国連75周年記念会議)において、鯖江市の取組を紹介。また、HPやSNSにて、英語表記も合わせて、情報発信している。				
法令 根拠		実施 形態	内容	国連の友APと連携している丹南ケーブルテレビにさばえの輝く女性の番組制作、放映を委託する。また、国連の友APを通じて国連等においてダイジェスト版を放映する。		
現在	民間等委託(全部)					

活動指標								
指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
※設定困難			目標値					
			実績値					
成果指標								
指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
女性活躍に関する番組制作			目標値	2	1	1	1	1
			実績値	2	2	2		
計算 根拠			達成率	100	200	200		
			実数値					
			ランク	A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2017	2018	2019	2020	2021	タイプ	会計	一般会計
	予算額	5,039	4,300	3,000	2,860	2,420		事業タイ	補助(国)事業
	決算額	2,997	4,227	2,409	2,365			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R3年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	2	1	22	202	持続可能な地域推進事業費	11,364	2,420	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	2,420

No	R3年度補助金等名称	金額(千円)
1	地方創生推進交付金	1,210
2		
3		
4		
5以降		
合計		1,210

事業要員	正規職員	0.1
	臨時・嘱託	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令により実施することが義務づけられているか。 (評価1いいえ・2はい)	<input checked="" type="radio"/> いいえ <input type="radio"/> はい	効率性	今以上に、コスト削減させる余地はないか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
行政が実施すべき事業か。 (評価1必要なし〜5必ず実施すべき)	<input type="radio"/> 1 <input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input checked="" type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5	効率性	今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う 人員削減させる余地はないか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
住民等のニーズはあるか。 (評価1ニーズなし〜5十分にニーズあり)	<input type="radio"/> 1 <input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input checked="" type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5	有効性	今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を 確保する余地はないか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
国・県または民間のサービスと競合している事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ	有効性	今以上に、成果を向上させる余地はないか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ	②事務改善 評価点数の合計 16 / 20 A	
①必要性 評価点数の合計 13 / 16 A			

ACTION

今年度	R3方向性⇒ 維持
取組内容	丹南CATV、国連の友AP、福井県眼鏡協会などの協力を得ながら、女性活躍に関する取組やSDGsの取組を中心とした映像番組を作成し、市民や国内外に発信するほか、NY国連本部へSDGs推進レポートとして紹介する。
来年度へ向けて	R2年度実績 本市の女性活躍推進を軸としたSDGs推進の取組み紹介番組を制作し、地元のケーブルテレビや地域活動拠点施設(夢みらい館・さばえ)、さばえSDGs推進センター、市のホームページ等で発信した。また、今後実施される国連ハイレベル政治フォーラムでのレポートとして活用していく。
	R2年度実績とR3年度の経過を踏まえた課題 R3年度も本市の女性活躍・ジェンダー平等の実現を中心としたSDGs推進の取組を紹介した映像番組を作成予定であり、作成した映像番組はSDGs推進センターでの放映や、オンラインでの発信を行う他、3月に実施するオレンジめがねキャンペーンでも活用するなど、県内外に発信し、できるだけ多くの方に見てもらえるよう、内容等も含めて協議していく。
	実績と課題を踏まえたR4年度の変更点 「ジェンダー平等の実現」を中心とした、「めがねのまちさばえ」のSDGsの取組に加え、若者、女性を中心とした市民や企業の活動を映像コンテンツとして制作。番組として放送する映像コンテンツだけでなく、SNSや研修など、様々な場面で活用できるよう、短い映像も制作する。SNSでの世界発信が効果的にできるよう、英訳をつけて、広く発信していく。 また、行政、企業、学校が取り組むSDGsの行動の見える化や、SDGsに取り組むものづくり産地のPR、コロナの影響で沈みがちなまちのにぎわいの創出や交流人口の増加を目的として、市民参加型の「さばえSDGsフェス」を開催する。
	R4方向性⇒ 内容拡大

【提案型市民役事業実施】

年度	2018	2019	2020	2021	2022
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R3年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	
R4年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R3年度 事業名	めがねのまちさばえ応援事業
R2年度 事業名	めがねのまちさばえ応援事業

総合戦略 体系	452	安心で快適に暮らせるまちの創造	デジタルファーストの推進	データの利活用
------------	-----	-----------------	--------------	---------

PLAN (計画)	部署名	総合政策課	開始年度	2017	終了年度	9999
	目的	「めがねのまちさばえ」を地域ブランドとして確立させていくためにフェイスブックなどSNSの登録者を「めがねのまちさばえ応援隊」として認定し、鯖江の魅力発信をお願いする。また、著名人など影響力の高い人物は、市のPRにつながる名前で「鯖江ブランド大使」に任命し、差別化を図りたい。				
	概要	フェイスブック、ツイッター、LINEなどSNSを利用し、若者や女性への情報提供を行い、めがねのまちさばえの魅力発信を拡散させたい。また、「さばえブランド大使」は、鯖江出身者やモノづくりでのタイアップ者などを積極的かつ効率的に活用し、SNSだけでなくマスコミをうまく利用し、鯖江発信につなげていきたい。				
	コロナ対応 の取組	(R2年度) SNSによるフォトコンテスト開催などを通して、鯖江ファンの創出に努めた (R3年度) コロナ禍の収束が見込めない中では、SNSを中心とした情報発信による鯖江ファン獲得に努める (R4年度) SNSを活用した情報発信による鯖江ファン獲得に努める				
	法令 根拠 現在	市直営	実施 形態	内容	SNSへの情報発信、めがねのまちさばえを応援する企業や団体を応援企業・団体として認定する。	

活動指標								
指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
SNS配信回数		回	目標値	20	20	30	30	30
			実績値	15	21	80		
成果指標								
指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
めがねのまちさばえ応援隊新規登録数		人	目標値	350	350	500	500	300
			実績値	738	1547	46678		
計算 根拠	各SNSアカウントのアカウント数参照		達成率	210.9	442.0	9335.6		
			実数値					
			ランク	A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2017	2018	2019	2020	2021	タイプ	会計	一般会計
	予算額	0	50	50	100	800		事業タイ	単独事業
	決算額	0	44	50	0			経費区分	物件費

No	款	項	目	事業	R3年度事業名			
					予算書額	うち事業額(千円)		
1	2	1	13	206	シティプロモーション推進事業費	9,334	800	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	800

No	R3年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.08
	臨時・嘱託	
	※所要時間	0

DO(実施)

CHECK(評価)

法令により実施することが義務づけられているか。
(評価1いいえ・2はい) いいえ はい

行政が実施すべき事業か。
(評価1必要なし〜5必ず実施すべき) 1 2 3 4 5

住民等のニーズはあるか。
(評価1ニーズなし〜5十分にニーズあり) 1 2 3 4 5

国・県または民間のサービスと競合している事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

①必要性 評価点数の合計 **11 / 16 B**

効率性 今以上に、コスト削減させる余地はないか。
 ある ない

効率性 今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う
人員削減させる余地はないか。
 ある ない

有効性 今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を
確保する余地はないか。
 ある ない

有効性 今以上に、成果を向上させる余地はないか。
 ある ない

②事務改善 評価点数の合計 **13 / 20 A**

ACTION

R3方向性⇒ **維持**

今年度 取組内容
特に若者にターゲットを絞った情報提供を行うことで、市公式SNS等の登録者数を増大し、めがねのまちさばえの魅力発信を行いたい。

来年度の実績
R2年度 SNSによるフォトコンテストを開催し、鯖江ファンの創出を行った。

R2年度実績とR3年度の経過を踏まえた課題
令和3年度は鯖江ブランド大使に任命している著名人によるプロモーション活動等を予定していたが、コロナ禍もあり実施が難しいと思われる。

実績と課題を踏まえたR4年度の変更点
著名人によるプロモーション活動等は実施せずに、市公式SNSを活用した鯖江ファンの獲得に努める。

R4方向性⇒ **事務改善**

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2018	2019	2020	2021	2022
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R3年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	
R4年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R3年度 事業名	大人ファースト鯖江めがね
R2年度 事業名	大人ファースト鯖江めがね

総合戦略 体系	121	魅力ある雇用の創出	既存産業の高度化	地域産業の活性化
------------	-----	-----------	----------	----------

PLAN (計画)	部署名	総合政策課	開始年度	2017	終了年度	2021
	目的	成人を迎える人々への記念品として鯖江産眼鏡を贈呈し、勤務先、学校などでPRしてもらう。若者が着用してくれる効果は大きいと考えられる。また、このような取り組みは「めがねのまち」ならではの取り組みであり、マスコミを通じたPR効果も期待され、「めがねのまちさばえ」の全国発信に繋がる。				
	概要	成人式の受付で参加者全員に「メイド・イン・さばえ」の眼鏡を贈呈する。成人式の最後には参加者全員が眼鏡をかけた写真を撮影し、知人、友人等にSNSを利用して最低1人には配信してもらうようにする。その配信が拡散することにより全国、世界に「めがねのまちさばえ」をPRすることが出来る。また、実際に鯖江産の眼鏡を愛用することでかけ心地やデザイン、品質の良さを知らせ、会社の同僚、上司、学校の友人、先生などへの眼鏡のPR効果や意見ももらえれば商品づくりの参考にもなり、「めがねのまちさばえ」としての相乗効果が期待できる。そして、大人の仲間入りをした記念の式典の日に「めがねのまち」に生まれ育ったことに感謝し、自慢できる「ふるさと鯖江」への思いも高めてもらえるような事業展開を図りたい。				
	コロナ対応 の取組	(R2年度) コロナ禍の折、不況に陥った眼鏡業界の産業支援の意味合いも踏まえた事業として実施 (R3年度) 成人式の開催方式を鑑みながら実施に向けて準備中				
法令 根拠		実施 形態	内容	眼鏡フレームを新成人に贈呈		
現在	市直営					

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
	福井県外での番組取り上げ数			目標値	3	3	3	1	-
				実績値	1	2	0		
	計算 根拠			達成率	33.3	66.6	0		
				実数値					
			ランク	C	C	C			
前年度 ランク B、Cの 理由	4回目の開催となり事業の周知も進み、福井県外の番組で取り上げられることがなかった。								

【単位:千円】

事業費	区分	2017	2018	2019	2020	2021	タイプ	会計	一般会計
	予算額	6,000	6,000	6,000	6,000	5,500		事業タイ	単独事業
	決算額	5,801	5,831	5,891	5,886			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R3年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	2	1	13	206	シティプロモーション推進事業費	9,334	5,500	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	5,500

No	R3年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.08
	臨時・嘱託	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令により実施することが義務づけられているか。
(評価1いいえ・2はい) いいえ はい

行政が実施すべき事業か。
(評価1必要なし〜5必ず実施すべき) 1 2 3 4 5

住民等のニーズはあるか。
(評価1ニーズなし〜5十分にニーズあり) 1 2 3 4 5

国・県または民間のサービスと競合している事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

①必要性 評価点数の合計 **11 / 16 B**

今以上に、コスト削減させる余地はないか。
効率性 ある ない

今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う
人員削減させる余地はないか。
効率性 ある ない

今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を
確保する余地はないか。
有効性 ある ない

今以上に、成果を向上させる余地はないか。
有効性 ある ない

②事務改善 評価点数の合計 **7 / 20 C**

ACTION

R3方向性⇒ **維持**

今年度 取組内容
シティプロモーションとして、引き続き「大人ファースト鯖江めがね」を実施し、新成人に対して鯖江のモノづくりのすばらしさの再認識とふるさと愛の醸成を図る。

R2年度の実績
「大人ファースト鯖江めがね」として、新成人に対し鯖江産眼鏡一式を贈呈した。今回は、贈呈して新成人によるSNS拡散にて発信だけでなく、眼鏡産業に携わる作り手側の想いを伝える動画を製作、上映し、あらためて鯖江のものづくりのすばらしさの再認識と、ふるさと愛の向上につなげる取り組みを行った。

R2年度実績とR3年度の経過を踏まえた課題
平成29年度から実施されており、話題性がなくなり全国ニュースで取り上げられる等のプロモーション効果が低くなっている。

実績と課題を踏まえたR4年度の変更点
R3年度で終了し、R4年度は実施しない方向で検討するが、代替案については教育委員会と協議を行う。

R4方向性⇒ **廃止**

【提案型市民役事業実施】					
年度	2018	2019	2020	2021	2022
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R3年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	
R4年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R3年度 事業名	眼育(めいく)さばえ
R2年度 事業名	眼育(めいく)さばえ

総合戦略 体系	999	※該当なし	※該当なし	※該当なし
------------	-----	-------	-------	-------

PLAN (計画)	部署名	総合政策課	開始年度	2018	終了年度	9999
	目的	子どものころからの目の健康づくり、目の健康に関する意識を高めてもらうために「眼育(めいく)」を発信し、幼少期の視力不良の早期発見や目の健康推進だけでなく、眼鏡、レンズの大切さも知っていただくことを目的に事業の推進を図りたい。				
	概要	新潟医療福祉大学石井教授と連携し、「眼育」をめがねのまちさばえから全国発信する。 ①「眼育(めいく)」をPRするための絵本作成や研修会を実施する。 ②視覚検診の充実を図り、3歳児健診だけでなく、就学前健診時にも屈折検査を導入する。 ③めがねのまちさばえ「子ども眼育スタディ」として、スマホと近視の関連性などを研究する。 ④高齢者向け、目の健康づくり教室を開催するなど目の健康づくりに取り組む。				
	コロナ対応 の取組	(R2年度) 保育所など現場での実習や研修会、また健診事業などが開催できず、オンラインによる研修会のみを開催(R3年度) 対面での講習会等が開催できない場合は、オンラインによる開催を検討する。				
法令 根拠		実施 形態	内容			
現在	市直営					

DO (実施)	活動指標								
		指標名	単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
		目に関する研修会・勉強会・イベントの実施	回	目標値	3	3	5	3	3
				実績値	3	7	5		
		成果指標							
		指標名	単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
		目に関する研修会・勉強会・イベントの参加者数	人	目標値	50	100	100	50	50
				実績値	50	700	136		
		計算 根拠	R2年度:活動指標と成果指標にイベント参加者数を追加	達成率	100	700	136		
				実数値					
			ランク	A	A	A			
	前年度 ランク B、Cの 理由								

【単位:千円】

事業費	区分	2017	2018	2019	2020	2021	タイプ	会計	一般会計
	予算額		5,430	1,478	615	674		事業タイ	単独事業
	決算額		5,135	1,429	432			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R3年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	2	1	13	206	シティプロモーション推進事業費	9,334	674	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	674

No	R3年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.3
	臨時・嘱託	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令により実施することが義務づけられているか。
(評価1いいえ・2はい) いいえ はい

行政が実施すべき事業か。
(評価1必要なし〜5必ず実施すべき) 1 2 3 4 5

住民等のニーズはあるか。
(評価1ニーズなし〜5十分にニーズあり) 1 2 3 4 5

国・県または民間のサービスと競合している事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

①必要性 評価点数の合計 **11 / 16 B**

効率性

今以上に、コスト削減させる余地はないか。
 ある ない

今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う人員削減させる余地はないか。
 ある ない

有効性

今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を確保する余地はないか。
 ある ない

今以上に、成果を向上させる余地はないか。
 ある ない

②事務改善 評価点数の合計 **10 / 20 B**

ACTION

今年度	R3方向性⇒	維持
	取組内容	研修会の実施や検査体制については、R1年度同様引き続き実施し、新たに作成した絵本を活用した保護者への意識の向上を図るとともに若い保護者のニーズに即したアプリを作成し、子どもの目に対する意識を高めたい。 また、イベント会場等で「眼育・メイク・make」を実施し、認知度向上を図りたい。 眼育・メイク・Make(3505)を統合する。
	来年度へ向けて	R2年度実績とR3年度の経過を踏まえた課題 昨年度の就学前健診等から、少なからずデジタルデバイスが子どもの視力に影響を与えていることが見受けられた。幼少期からの目の健康づくりに対する意識啓発や、幼児期の視界不良の早期発見・早期治療に向けての取組みが重要である。 実績と課題を踏まえたR4年度の変更点 専門的知識を要すること、3歳児健診時の視力検査結果を踏まえた就学前健診での視力検査との比較対象など、事業の遂行または継続性を考えて所管する部署について検討する必要がある。
R4方向性⇒	維持	

【提案型市民役事業実施】					
年度	2018	2019	2020	2021	2022
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R3年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	
R4年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R3年度 事業名	持続可能な地域推進事業 (SDGsパートナーシップ事業)
R2年度 事業名	持続可能な地域推進事業 (SDGsパートナーシップ事業)

総合戦略 体系	142	魅力ある雇用の創出	女性が輝くまちの創造	女性の活躍支援
------------	-----	-----------	------------	---------

PLAN (計画)	部署名	総合政策課	開始年度	2018	終了年度	9999
	目的	持続可能な開発目標「SDGs」の目標達成に向け、市民、市民団体、企業、大学など多くの関係者による協力的かつ包括的な取組が必要であるため、SDGsについて認知度を高め、鯖江市全体で一丸となって取り組む機運を高めることを目的とする。SDGsとは何かを広く市民に知っていただくために、集客の見込めるイベント等で発信し、企業、団体、個人の取組みを推進していく。				
	概要	SDGsとは何かを広く市民に知っていただくために、集客の見込めるイベント等で発信し、企業、団体、個人の取組みを推進していく。SDGs推進の啓発のためのSDGsBookカフェやSDGs月間の開催、国際女性デーに合わせたオレンジめがねキャンペーンの実施、市民団体を対象にしたSDGs事業補助を行う。				
	コロナ対応の取組	(R3年度) 新型コロナウイルスの感染拡大防止対策が必要な場合は、人数制限等、対策を実施しながら事業を実施していく。オンライン開催等、実施方法の変更も検討する。				
	法令 根拠	民間等委託(一部)	実施 形態	内容	リーフレット・パネル・ピンバッジ制作、オレンジめがねキャンペーンイベント、女性活躍推進支援業務は委託。	

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
	SDGs推進のための研修会の開催			目標値	5	20	20	20	20
				実績値	12	27	29		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
	SDGsの活動事業団体数			目標値	4	5	40	40	70
				実績値	4	25	43		
	計算 根拠	R2～本市と連携してSDGs推進を図っている企業、団体(さばえSDGsグローバルクラブ等)数 R1までは、市内でSDGs推進活動を行っている企業、団体数		達成率	100	500	107.5		
				実数値					
			ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2017	2018	2019	2020	2021	タイプ	会計	一般会計
	予算額		1,658	23,701	4,794	4,964		事業タイ	単独事業
	決算額		1,120	22,798	3,943			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R3年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	2	1	22	202	持続可能な地域推進事業費	11,364	4,964	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	4,964

No	R3年度補助金等名称	金額(千円)
1	地方創生推進交付金	2,404
2		
3		
4		
5以降		
合計		2,404

事業要員	正規職員	0.7
	臨時・嘱託	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令により実施することが義務づけられているか。 (評価1いいえ・2はい)	<input checked="" type="radio"/> いいえ <input type="radio"/> はい	効率性	今以上に、コスト削減させる余地はないか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
行政が実施すべき事業か。 (評価1必要なし〜5必ず実施すべき)	<input type="radio"/> 1 <input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input checked="" type="radio"/> 5	有効性	今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う 人員削減させる余地はないか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
住民等のニーズはあるか。 (評価1ニーズなし〜5十分にニーズあり)	<input type="radio"/> 1 <input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input checked="" type="radio"/> 5		今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を 確保する余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない
国・県または民間のサービスと競合している事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ		今以上に、成果を向上させる余地はないか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ	②事務改善 評価点数の合計 13 / 20 A	
①必要性 評価点数の合計 15 / 16 A			

ACTION

今年度	R3方向性⇒ 維持
取組内容	「さばえSDGs推進センター」を中心に、企業、市民団体、学校、国連の友Asia-Pacific等と連携し、女性活躍やSDGs推進に関する講座、展示、イベントなどによる啓発事業、プロジェクトを実施するとともに、これらを国内外に向けて強く発信することで、市民や企業のSDGs推進への意識を高める。これにより、国内外の新たなステークホルダーを呼び込み、更なる連携を促進し、相乗効果を創出したり、SDGsに取り組む市内企業の情報発信を行ったりして、若者や女性に魅力ある雇用の創出や市民活動の活性化につなげる。
来年度へ向けて	R2年度実績とR3年度の経過を踏まえた課題 R2,R3共にコロナ禍の影響により大規模なイベントやセミナーの開催は難しい状況にあるが、SDGs推進センターを会場としてさばえSDGs BookカフェやさばえSDGsCIN EMAシェアなど小規模のイベント開催や、オンラインを活用した情報発信、出前講座などを行い、市民や企業のSDGs推進への意識を高める。また、「さばえSDGsグローバルクラブ」の登録企業・団体を始めとしたより多くのステークホルダーとの連携を推進し、市民活動の活性化につなげる。事業実施の際は、セミナー等の参加費の導入や、企業との共同開催・連携事業等も導入していく。
	実績と課題を踏まえたR4年度の変更点 SDGs推進センターでの事業実施だけでなく、オンラインでの情報発信や研修会の開催、ステークホルダーとの連携事業を実施していくと共に、地域活動拠点である「夢みらい館・さばえ」や、鯖江市役所JK課・市内の学校などと連携することで、活動団体の活性化を図る。
	R4方向性⇒ 維持

【提案型市民主役事業実施】

年度	2018	2019	2020	2021	2022
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R3年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	
R4年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R3年度 事業名	移住就職支援事業
R2年度 事業名	移住就職支援事業

総合戦略 体系	214	若者が住みたくなるまちの創造	若者の夢を応援するまち ~よそ者に寛大で多 様性があるまち~	UIターン者定住促進
------------	-----	----------------	-----------------------------------	------------

PLAN (計画)	部署名	総合政策課	開始年度	2019	終了年度	2024
	目的	東京圏への過度な一極集中の是正および地域の中小企業等における人手不足の解消を目的として、移住者に対し支援金を支給することにより、移住に係る初期費用の支援を行い移住者の経済負担を軽減することで、鯖江市への移住を促進する。				
	概要	東京23区の在住・在勤者で、県就職マッチングサイトに掲載された県内中小企業の求人に応募・就業し、鯖江市に移住してきた者に対して、次の額を支給する。 ・単身で移住した場合には60万円 ・世帯で移住した場合には100万円				
	コロナ対応 の取組	特になし				
	法令 根拠 現在	補助金等交付	実施 形態	内容	市が交付申請者に対して移住支援金を交付する。	

活動指標								
指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
※設定困難			目標値					
			実績値					
成果指標								
指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
補助件数		件	目標値		2	2	2	2
			実績値		1	1		
計算 根拠			達成率		50	50		
			実数値					
			ランク		C	C		
前年度 ランク B、Cの 理由	東京一極集中の是正と地方の担い手不足対策のため、国・県・市が一体となって移住者を支援する制度であるが、制度利用者が全国的にも少ない現状にある(昨年は県内4件)。当該制度の支援対象要件が厳しいことが一因と考えられ、その結果として、当市においても制度利用者が少なかったことと思われる。(4件の内訳は鯖江市、福井市、越前市、勝山市で各1件)							

DO
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2017	2018	2019	2020	2021	タイプ	会計	一般会計
	予算額			5,000	3,200	3,200		事業タイ	補助(県)事業
	決算額			600	1,000			経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R3年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	2	1	13	208	関係・移住人口創出事業費	4,147	3,200	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	3,200

No	R3年度補助金等名称	金額(千円)
1	移住就職支援事業費補助金(国1/2 県1/4)	2,400
2		
3		
4		
5以降		
合計		2,400

事業要員	正規職員	
	臨時・嘱託	
	※所要時間	8

CHECK(評価)

法令により実施することが義務づけられているか。(評価1いいえ・2はい) いいえ はい

行政が実施すべき事業か。(評価1必要なし〜5必ず実施すべき) 1 2 3 4 5

住民等のニーズはあるか。(評価1ニーズなし〜5十分にニーズあり) 1 2 3 4 5

国・県または民間のサービスと競合している事業がある。(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

①必要性 評価点数の合計 **13 / 16 A**

今以上に、コスト削減させる余地はないか。 ある ない

効率性 今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う人員削減させる余地はないか。 ある ない

有効性 今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を確保する余地はないか。 ある ない

今以上に、成果を向上させる余地はないか。 ある ない

②事務改善 評価点数の合計 **13 / 20 A**

ACTION

R3方向性⇒ **事務改善**

今年度 取組内容
 東京23区の在住・在勤者で、県就職マッチングサイトに掲載された県内中小企業の求人に応募・就業し、鯖江市に移住してきた者に対して、次の額を支給する。
 ・単身で移住した場合には60万円
 ・世帯で移住した場合には100万円
 また、登録企業数を向上させるため、鯖江商工会議所の作成する広報に掲載依頼をすることで市内事業所向けに周知を行う。

R2年度の実績
 令和2年度の交付申請者は1世帯であった。また、登録企業数向上のため、人手不足である福祉施設への情報提供や中小企業向けメールマガジンへの掲載を行った。

R2年度実績とR3年度の経過を踏まえた課題
 国の支援対象要件が緩和されたが、令和3年度の交付申請者は0件(相談2件)であり、今年度も交付申請者が少ない可能性がある。支援対象要件の厳しさが第一義的な原因であると思われるが、転入者に対する制度の認知度が低いことも一因と考えられる。

実績と課題を踏まえたR4年度の変更点
 ・ホームページなどにおいて制度に関するPRを強化し、制度の認知度を高め、鯖江市への移住につなげたい。
 ・全国型移住支援金の創設を検討し、これまで以上に移住者が増加するような取組みを模索する。

R4方向性⇒ **内容拡大**

【提案型市民役事業実施】					
年度	2018	2019	2020	2021	2022
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R3年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	
R4年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R3年度 事業名	シェアリングシティさばえ推進事業
R2年度 事業名	シェアリングシティさばえ推進事業

総合戦略 体系	251	若者が住みたくなるまちの創造	参加と協働による市民主役	市民主役事業の推進
------------	-----	----------------	--------------	-----------

PLAN (計画)	部署名	総合政策課	開始年度	2019	終了年度	9999
	目的	平成30年度に総務省から「シェアリングエコノミー活用推進事業」を受託し実施した結果、サービス提供側・利用側それぞれに様々な課題が見つかった。また、セミナーの効果もあり、少しずつ市民のサービス提供登録が増えてきているが、まだまだ活用できるスキルや 遊休資産が眠っている。そこで、域外からの来訪者に対するサービス提供の充実、また域内のサービス提供・利用促進により持続可能なまちづくりを図る。				
	概要	本市の実情にあったプラットフォームを講師に招き、広く市民向けのシェアエコセミナーを開催し、サービス登録支援や利用促進を図る。また、ものづくり産地における平時の工房見学やWSのサービス提供支援を行う。				
	コロナ対応 の取組	(R2年度) セミナー等の県外集客による感染症拡大を懸念して事業中止。 (R3年度) 全国的にコロナ禍が収束するまでセミナー開催は休止とする。 (R4年度) 事業所・市民向けセミナーをオンラインと対面のハイブリットで実施する。				
法令 根拠		実施 形態	内容	シェアエコセミナー、シェアエコ開拓支援を委託する。		
現在	民間等委託(一部)					

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
	セミナー開催件数		回	目標値		2	-	-	1
				実績値		2	-	-	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
	サービス登録件数		件	目標値		5	20	20	20
				実績値		34	21		
	計算 根拠			達成率		680	105		
				実数値					
		ランク		A	A				
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2017	2018	2019	2020	2021	タイプ	会計	一般会計
	予算額			963	864	0		事業タイ	単独事業
	決算額			904	0			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R3年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
1							0
2							
3							
4							
5以降							
合計							0

No	R3年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.03
	臨時・嘱託	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令により実施することが義務づけられているか。
(評価1いいえ・2はい) いいえ はい

行政が実施すべき事業か。
(評価1必要なし〜5必ず実施すべき) 1 2 3 4 5

住民等のニーズはあるか。
(評価1ニーズなし〜5十分にニーズあり) 1 2 3 4 5

国・県または民間のサービスと競合している事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

①必要性 評価点数の合計 **8 / 16 C**

効率性

今以上に、コスト削減させる余地はないか。 ある ない

今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う人員削減させる余地はないか。 ある ない

有効性

今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を確保する余地はないか。 ある ない

今以上に、成果を向上させる余地はないか。 ある ない

②事務改善 評価点数の合計 **16 / 20 A**

ACTION

今年度 R3方向性⇒ **休止(R3以降使用)**

取組内容 令和3年度はコロナ禍の影響を鑑みてセミナー等を休止とした。

来年度へ向けて R2年度の実績

令和2年度はコロナ禍の影響を鑑みてセミナー等を中止とした。

R2年度実績とR3年度の経過を踏まえた課題
「ウィズコロナ」、「ポストコロナ」に対応して実施する必要性あり。
サービス登録件数を伸ばすためには、引き続き、信用の高い行政が関わりつつPRに注力するとともに、需要に沿ったサービスへの登録を促す必要あり。

実績と課題を踏まえたR4年度の変更点
HPやSNSを軸とした普及活動を行う。

R4方向性⇒ **事務改善**

【提案型市民役事業実施】					
年度	2018	2019	2020	2021	2022
取組選択	不可能	不可能	可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R3年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R4年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R3年度 事業名	地域おこし協力隊によるSDGs推進事業
R2年度 事業名	地域おこし協力隊によるSDGs推進事業

総合戦略 体系	214	若者が住みたくなるまちの創造	若者の夢を応援するまち ～よそ者に寛大で多 様性があるまち～	UIターン者定住促進
------------	-----	----------------	-----------------------------------	------------

PLAN (計画)	部署名	総合政策課	開始年度	2020	終了年度	9999
	目的	鯖江市外の人材を活用し、SDGsの推進に必要な施策を推進するとともに、鯖江市への定住および定着を促進する。				
	概要	SDGsパートナーシップ事業を、国連の友Asia-Pacificでの勤務経験があり、海外事情に詳しい地域おこし協力隊と共に企画・実施するとともに、本市が特に注力する「ジェンダー平等の実現」に向けて海外の視点を生かした研修会や普及事業を実施・発信することで、市民の認知度を高め、SDGs達成に向けた行動を促す。				
	コロナ対応 の取組	特に無し				
法令 根拠		実施 形態	内容			
現在						

活動指標								
	指標名	単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
※設定困難			目標値					
			実績値					
成果指標								
	指標名	単位	年度	2018	2019	2020	2021	2022
SDGsの推進やジェンダー平等に関する啓発活動の実施回数		回	目標値			10	15	15
			実績値			10		
計算 根拠	市内において地域おこし協力隊を講師とした研修会・セミナーによる啓発や推進センターでの展示による啓発、テレビ・ラジオでの啓発の実施回数		達成率			100		
			実数値					
			ランク			A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2017	2018	2019	2020	2021	会計	一般会計
	予算額				1,990	3,980	事業タイ	単独事業
	決算額				1,990		経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R3年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	2	1	22	202	持続可能な地域推進事業費	11,364	3,980	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	3,980

No	R3年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	
	臨時・嘱託	0
	※所要時間	

CHECK(評価)

法令により実施することが義務づけられているか。
(評価1いいえ・2はい) いいえ はい

行政が実施すべき事業か。
(評価1必要なし〜5必ず実施すべき) 1 2 3 4 5

住民等のニーズはあるか。
(評価1ニーズなし〜5十分にニーズあり) 1 2 3 4 5

国・県または民間のサービスと競合している事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

①必要性 評価点数の合計 **14 / 16 A**

効率性 今以上に、コスト削減させる余地はないか。 ある ない

今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う人員削減させる余地はないか。 ある ない

有効性 今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を確保する余地はないか。 ある ない

今以上に、成果を向上させる余地はないか。 ある ない

②事務改善 評価点数の合計 **13 / 20 A**

ACTION

R3方向性⇒

今年度取組内容
SDGs推進に関する情報を市民に向けて発信するとともにセミナー等を通して普及啓発を行うことで、市内におけるSDGs推進を図る。また、SDGs推進に関する国内外の情報を収集、必要に応じて翻訳し、市民や職員等に提供すると共に、本市のSDGs推進に関する取組について、国内外への発信を行う。

R2年度の実績
地域おこし協力隊の活動を通じて、本市のSDGs推進の軸としている目標5「ジェンダー平等の実現」を中心とした研修会の開催や海外の視点を生かした展示、情報発信等を実施した。

R2年度実績とR3年度の経過を踏まえた課題
R2年度、R3年度共に地域のまちづくり団体や学校、企業等からの依頼により、海外の視点を活かして、SDGsや目標5「ジェンダー平等の実現」についての研修会を行った。また、さばえSDGs推進センターでの展示やSNSの活用等により、市内外に向けた情報の発信に取り組んでいる。今後もSDGs推進センターでの事業の企画や、「夢みらい館・さばえ」をはじめ、各企業・団体との連携により、活動を拡大し、より効果的な事業となるよう働きかけていく。

実績と課題を踏まえたR4年度の変更点
引き続き研修会の実施や情報発信を行いながら、随時ミーティング等の情報共有を行い、新規事業の企画や手法の検討・見直しを行っていく。

R4方向性⇒

【提案型市民役事業実施】					
年度	2018	2019	2020	2021	2022
取組選択			不可能	不可能	不可能
実施状況			未実施	未実施	未実施

R3年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R4年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒